

# 近畿国立病院薬剤師会

会誌



Vol.65  
2021年1月

## 目 次

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 新年のご挨拶.....                      | 2  |
| 神戸医療センター 河合 実                    |    |
| 提言.....                          | 3  |
| 宇多野病院 佐光 留美                      |    |
| 薬剤部紹介.....                       | 5  |
| 敦賀医療センター 原 伸好                    |    |
| 2021 年度 近畿国立病院薬剤師会総会報告.....      | 7  |
| 舞鶴医療センター 野田 拓誠                   |    |
| 「第 33 回日本外科感染症学会総会学術集会」参加報告..... | 9  |
| 南和歌山医療センター 熊谷 康平                 |    |
| 「第 41 回日本臨床薬理学会学術総会」参加報告.....    | 10 |
| 神戸医療センター 齊藤 祐介                   |    |
| 新採用者紹介.....                      | 11 |
| 大阪南医療センター 塚本 愛理                  |    |
| 趣味のページ.....                      | 12 |
| 大阪刀根山医療センター 西田 神奈                |    |
| 編集後記.....                        | 13 |

## 新年のご挨拶

近畿国立病院薬剤師会 会長  
神戸医療センター 河合 実

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、コロナ渦のなか健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は近畿国立病院薬剤師会の運営に格別のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年末には、JCHOでの医薬品卸の談合に伴い、NHOでの医薬品購入の規制通知や、小林化工のイトラコナゾール錠へのリルマザホン混入事案とこれまで経験したことのない事件が起き、会員の皆様におかれましても対応に大変苦慮されたことと思います。しかし、昨年は何ととっても、新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れた一年だったのではないのでしょうか。2019年12月に中華人民共和国 湖北省 武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症は、昨年1月頃より世界的に広がり、国内においても4月7日に政府による緊急事態宣言が発出され、人々の接触移動は制限され、社会経済活動は大幅に縮小されることとなりました。これに伴い、当薬剤師会事業も中止せざるを得なくなりましたことを改めてお詫び申し上げます。

理事会としましては、昨年度は、コロナ渦での会の運営方法について検討して参りました。今年度も会の運営は集合形式を基本としますが、コロナ感染症の終息の兆しが見えないため、WEB開催を行うことで事業の活性化を行いたいと考えています。事業内容としましては、人材育成をスローガンとし、会員の皆様の声を大切にしながら各事業運営を行って参りますので積極的なご参加をお願い申し上げます。今年は、必ずこの感染症を克服して、明るい希望ある年となることを信じて皆さんと共に協力して前へ進んでいきたいと思ひます。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝とご多幸、近畿国立病院薬剤師会の更なる発展を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 提 言

宇多野病院 佐光 留美

2020 年 4 月より宇多野病院に異動となり、京都市内へ通勤することとなりました。現在、阪堺電車（大阪市南部から堺市の間を走行、ちん電と呼ばれています）と京福電車（嵐山方面に行く路線で嵐電と呼ばれています）に乗って通勤しています。阪堺電車と京福電車は路面電車といわれる乗り物で、英語でいうと

「Tram」、「Streetcar」などなど。路面電車は、大半は 1 両編成、通常の電車よりひとまわり小さい車両で、ワンマン運転で運行されています。そして、運転士が声や動作の大きさに差はあるものの、「〇〇、よしっ!」と「指差喚呼」しながら運転している姿を目にします。運転士や駅員が人差し指で確認作業を行っている、アレです（医療安全の領域では「指差呼称」と呼ばれています）。「指差喚呼」は鉄道の世界では当たり前の安全確保の手法で、鉄道総合技術研究所によると、ある対象物を確認したり操作したりするために指を差すとともに、その状態やその操作した内容について声を出して確認すること、とされています。歴史は古く、明治の末頃に神戸の鉄道管理局（今の JR 西日本でしょうか）が発祥とされているようです。

阪堺電車（ちん電）



京福電車（嵐電）



私たちも、日々、五感をフル活用して、エラー防止に努めています。マニュアル遵守、スキルアップのための研修、個人で工夫していること、などなど…数えきれないと思います。エラーの原因は多岐にわたるため、想定を超えるエラーが発生することもあるかもしれませんが、医療安全の領域では、エラーの原因は確認不足、コミュニケーション不足が圧倒的に多いといわれています。そして、エラー防止のためにはノンテクニカルスキルが重要と考えられています。ノンテクニカルスキルとは、コミュニケーション、チームワーク、リーダーシップ、状況確認、意思決定などを包含する総称で、専門的な知識や技術であるテクニカルスキルとともにチーム医療における安全や質の確保に必要なものです。

少し前の報告ですが、2016 年に米国で「Project Aristotle」が発表されました。このプロ

ジェクトによると、成功するチームの共通点で唯一有意差があったのは「psychological safety（心理的な安全）」だったそうです。これは心理学の専門用語で、チームのメンバーひとりひとりが恐怖や不安を感じることなく、安心して発言・行動できる状態のことを示します。身近な表現にすると、「自分らしく働いている状態」、「安心して何でも言い合える職場だと感じる状態」と言い換えることができますと思います。感じ方や受け取り方はひとそれぞれですが、年齢や性別や役職や資格や経歴や、その他にもいろいろと多種多様な順列が想像される社会の中で、psychological safety を形成するには、ノンテクニカルスキルは方法のひとつであろうと思います。昨年末からのコロナ禍による影響も大きいなかで、いろんな制限を受ける環境のもとでも、「相手への心遣い・同情・配慮・共感」をキーワードに、私たちは psychological safety なチーム、部門を目指す組織でありたいと願っています。

## 薬剤部紹介



独立行政法人 国立病院機構

# 敦賀医療センター

National Hospital Organization Tsuruga Medical Center

### <変遷>

当センターは、明治 31 年 3 月に「敦賀連隊区司令部敦賀衛戍病院」として開設され、その後「国立療養所敦賀病院」に改称しました。平成 15 年 7 月 1 日、厚生労働省の再編計画に基づき、旧国立療養所敦賀病院と旧国立療養所福井病院が敦賀病院の地で統合となり、がん、呼吸器疾患（結核含む）、重症心身障害、血液・造血器疾患の政策医療を柱として、専門的な医療、臨床研究、教育研修及び情報発信の機能を備えた総合医療機関として「国立福井病院」の名称で発足しました。平成 16 年 4 月 1 日には独立行政法人化により「独立行政法人 国立病院機構 福井病院」、平成 27 年 4 月 1 日に「独立行政法人 国立病院機構 敦賀医療センター」に名称変更となり、現在に至ります。



### <診療体制>

当センターは、敦賀市と美浜町とを結ぶ旧国道 27 号線沿いの桜ヶ丘町に位置し、福井県嶺南地域を管轄する二州保健医療圏における基幹的な総合専門医療機関として高度で質の高い医療を提供しています。病床規模は 247 床（一般 127 床、重症心身障害 120 床）であり、標榜診療科は 28 科にわたり、平成 19 年 1 月には地域がん診療連携拠点病院の指定を受けるとともに、政策医療として重症心身障害児（者）医療及び血液凝固異常疾患を担っています。がん診療に関しては、福井県嶺南地域唯一のがん診療連携拠点病院として消化器がんのみならず、白血病、乳がん等の血液、婦人科領域のがん種などの診療も行っています。また、がん緩和療法にも取り組んでおり、がん患者相談、がん患者就労支援窓口などの活動も行っています。血液疾患に関しては、白血病、悪性リンパ腫等のほか、エイズ治療拠点病院としても指定を受けています。その外、重度肢体不自由児と重度知的障害を伴った重症心身障害児が療養する病棟も有し、患者の高齢化に伴い増加する循環器疾患、代謝性疾患、不慮の骨折を含めた整形外科疾患も多く、福井県内における重症心身障害患者の重要な診療拠



点となっています。

#### <薬剤部>

薬剤部の構成メンバーは、薬剤部長、副薬剤部長、主任薬剤師2名、薬剤師3名の計7名です。当センターが掲げる基本方針や職業倫理指針に沿って、調剤業務、病棟薬剤業務、薬務業務、製剤業務、医薬品情報管理業務、治験管理業務、各種委員会への参画、学生実習の受入れ等の業務に当たっています。令和2年度上期における月平均業務量として、調剤業務は概ね外来院内処方せん150枚、外来院内注射せん450枚、院外処方せん2,300枚、入院処方せん1,200枚、入院注射せん1,200枚、病棟薬剤業務では一般病床2病棟を対象として概ね250件を実施しています。また、医薬品情報管理業務では、医師、看護師等を対象として、最新の医薬品情報を収集・分析・評価を行い、医薬品情報を発出するとともに、チーム医療を推進すべく各種委員会等に積極的に参画しています。その他、薬学6年制教育における長期実務実習を受入れており、令和元年には5名、令和2年には1名、次年度にあっても5名の受入れを予定しています。



(文責：原 伸好)

## 2021 年度 近畿国立病院薬剤師会総会報告

舞鶴医療センター 野田 拓誠

2021 年度近畿国立病院薬剤師会総会は、ホームページ上に動画を掲載するして開催された。例年、集合形式で行われてきたが、今年はコロナ禍のため、集合形式ではなくホームページ上に動画を掲載し、アンケートシステムにて入力する方式が採られた。

### ○ 期間

総会資料掲示、質疑受付期間：2020 年 12 月 1 日~12 月 11 日

質疑回答：2020 年 12 月 18 日

採決（HP アンケートシステム）：2020 年 12 月 21 日~2021 年 1 月 12 日

結果報告：2021 年 1 月 18 日

### ○ 参加者

272 名（会員数 320 名）

会則第 12 条 5 項に従い、会員過半数出席により総会が成立

### ○ 内容

1. 会長挨拶（河合会長）
2. 専門職挨拶（上野薬事専門職）
3. 報告事項
  - (1) 2020 年度事業報告
    1. 事業報告
    2. 地区会報告
  - (2) 2020 年度会計報告（丸山経理担当理事）
  - (3) 2020 年度会計監査報告
  - (4) その他
4. 審議事項
  - (1) 2021 年度事業計画案
    1. 総務（山下総務担当理事）
    2. 企画（中野企画担当理事）
    3. 広報（別府広報担当理事）
    4. 臨床研究委員会（田路委員長）
    5. 治験委員会（安井委員長）



6. 医薬品情報委員会（桶本委員長）
  7. がん・緩和・精神委員会（古川委員長）
  8. 感染・免疫・アレルギー委員会（中野委員長）
  9. 循環器委員会（小田委員長）
  10. 糖尿病委員会（木原委員長）
  11. 栄養・褥瘡委員会（辰己委員長）
- (2) 2021 年度予算案（丸山経理担当理事）

○ アンケート結果

- |         |         |          |         |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 報告事項 | 回答数 272 | 承認する 269 | 承認しない 3 |
| 2. 事業計画 | 回答数 272 | 承認する 269 | 承認しない 3 |
| 3. 予算案  | 回答数 272 | 承認する 269 | 承認しない 3 |

以上について、過半数の同意が得られ、承認された。

## 「第33回日本外科感染症学会総会学術集会」参加報告

南和歌山医療センター 熊谷 康平

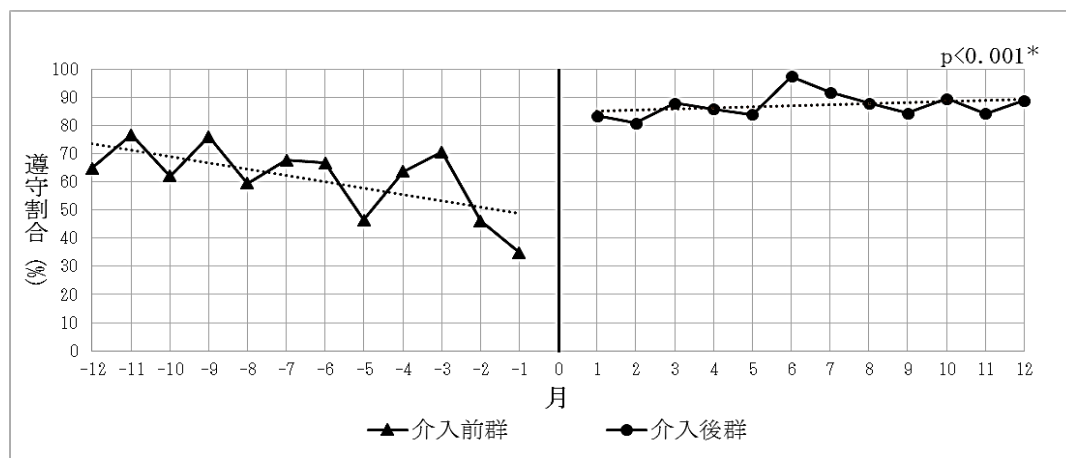


令和2年11月27日から28日にかけてWEB開催された上記の学術集会に参加し、演題名「術後感染予防抗菌薬の適正使用に向けた病棟薬剤師による電子カルテを用いた処方提案の効果」で発表を行いました。

「術後感染予防抗菌薬」という若手の先生方でも馴染みやすい内容かと思しますので、簡潔に情報提供させていただきます。

2016年に発刊された「術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン(GL)」におきまして、手術部位別の予防抗菌薬の適応や、患者特性に応じた投与間隔および投与量などが勧告されています。種類に関してはクリニカルパスでGLが遵守されたという報告はありましたが、投与間隔および投与量に関する報告はありませんでした。前所属の京都医療センターでは2018年から外科の予定手術患者の予防抗菌薬に、病棟薬剤師が医師・手術室看護師と共同して介入することで、下図に示す通り、GLに沿った予防抗菌薬の使用割合が早期かつ持続的に上昇しました。症例数の制限から統計学的有意差は認めませんでしたが、肥満患者における予防抗菌薬の増量が手術部位感染(SSI)を減少させる傾向を認め、今後本介入がSSI減少に寄与するか検討を行いたいと考えています。

本演題は学術集会のAWARDに選出頂きました。ご指導ご鞭撻を頂きました関係各位の先生方並びに、病棟で介入された同志の先生方に、この場をお借りして感謝申し上げます。



: Interrupted Time-series Analysis

## 「第 41 回日本臨床薬理学会学術総会」参加報告

神戸医療センター 齊藤 祐介

令和 2 年 12 月 3 日から 5 日にかけて、福岡国際会議場にて開催された第 41 回日本臨床薬理学会学術総会に参加させていただきましたので報告致します。

昨今、新型コロナウイルス(COVID-19)の流行により数多くの学会行事が延期・中止や web 開催となっております。そのような情勢の中、当学術集会は感染予防対策を徹底したうえで、web と同時に予定通り現地でも開催されました。しかし、掲示されているポスターの枚数や会場の参加者数は昨年と比較して大きく減少しており、確実に影響を受けていることを実感しました。発表演題に関しても COVID-19 の検査や治療関係のものが数多くあり、我々医療関係者や研究者にとって COVID-19 が大きな関心の的となっていることが感じられました。例えば、COVID-19 を克服するための手段として、既存薬の Drug-Repurposing の模索や様々なワクチン開発があること、感染回復者の血漿を投与する臨床試験が進行中であること等、興味深い話を聞くことができました。COVID-19 のパンデミックの只中で、我々も一医療従事者として、何ができるかを考えながら業務にあたらなければならないと考えさせられる学術総会でした。



## 新採用者紹介 ～ニューフェイス～

●名前：塚本 愛理（つかもと えり）

●施設名：大阪南医療センター

●出身大学：武庫川女子大学

●座右の銘：温和丁寧

●抱負：前職では、調剤薬局にて在宅医療に携わっていました。医療という枠組みの中でも、病院ではまた異なる専門的な知識が求められると思います。自己研鑽を積むと同時に経験豊富な先輩方からも知見をお借りし、一日でも早く皆様のお力になれる様頑張ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

## 趣味のページ

大阪刀根山医療センター 西田 神奈

京都医療センターの東先生からバトンを受け継ぎました、大阪刀根山医療センターの西田神奈と申します。東先生とは大阪刀根山医療センターで1年間一緒に働かせていただき、吸入指導を始め、色々なことを教えていただきました。

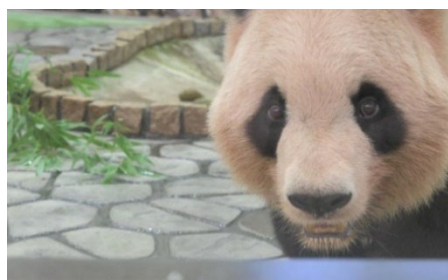
趣味のページを書かせていただくことになりましたので、数少ない趣味の中でカメラについて書かせていただきます。まず、カメラに興味が出てきたのは大学に入ってからです。大学時代はお金もなかったのでアルバイトをして貯めたお金でデジタルカメラを買い、去年の秋まで約5年半使用していました。働き始め少し貯金も増えたので、去年の秋に人生初のミラーレス一眼カメラを購入しました。カメラを買うにあたって毎週のようにヨドバシカメラに通いメーカーさんの話を聞いて決めました。今では旅行など出かけるときには欠かさず持っていく必需品となっています。



ここからは今までに撮った写真の中でお気に入りの写真を紹介したいと思います。一枚目はミラーレス一眼カメラを持って初めて出かけた『いなべ市梅林公園』の写真です。梅が見ごろの時期だったので、何か所も梅の名所を巡りながらカメラの操作の仕方を練習しました。梅をきれいに撮れる角度などを色々工夫して、私の中でうまく撮れたと感じた一枚です。天気が曇りなのが少し残念です。



二枚目は『和歌山アドベンチャーワールド』のパンダの写真です。カメラを構え待っていると、こっちに向かって歩いてきてくれて撮れた正面のドアップ写真です。時々スマートフォンに入っているパンダの写真を見て癒されています。まだまだ、カメラ初心者なのでこれからもたくさん練習していい写真を撮れるようになりたいです。今現在、新型コロナウイルスの影響で旅行やお出かけがしにくい状況が続いており、私のカメラも使う機会がない状態です。一刻も早くこの状況が収まりこれまでの日常が戻ってくることを願っております。それまでは自宅から夕陽や空の写真を撮ってみようかなと思っています。



拙い文章でしたが、ご拝読ありがとうございました。次回は同期である京都医療センターの江島怜那先生にお願いしております。よろしくお願いいたします。

## 編集後記

- ♪ 新年あけましておめでとうございます。昨年も多くの先生方から原稿を執筆頂き、ありがとうございました。今年もどうぞよろしくお願い致します。
- ♪ 新型コロナウイルス感染症の第3波が拡大していますが、いよいよ世界各国ではワクチン接種も開始されています。日本は多くの薬害を体験した国ですので副反応や有害事象にも十分に注意し、長い目でワクチンの動向を追っていかねばいけませんね。
- ♪ 今年は丑年です。2021年は「辛・丑（かのと・うし）」に当たるそうで、つらい事が多いだけ、大きな希望が芽生える年になることを指し示しているそうです。牛は「粘り強さ」の象徴と言われることから「粘り強く」新型コロナウイルスと向き合ってきた多くの方々が報われるといいですね。
- ♪ 今年最初の会誌です。今月号は新年のあいさつ、近畿国立病院薬剤師会総会報告など、読み応えのある内容となっております。今月号も是非最後までご熟読下さい。

(I.Y)

近畿国立病院薬剤師会会誌

第六十五号 令和三年一月発行

発行元 近畿国立病院薬剤師会事務局

神戸市須磨区西落合3-1-1

(独立行政法人国立病院機構神戸医療センター薬剤部内)

発行人 会長 河合 実(神戸医療)

|           |              |
|-----------|--------------|
| 編集 広報担当理事 | 別府 博仁(京都医療)  |
| 広報委員      | 水津 智樹(大阪南医療) |
|           | 村津 圭治(京都医療)  |
|           | 常倍 翔太(兵庫中央)  |
|           | 池上 洋平(京都医療)  |
|           | 野田 拓誠(舞鶴医療)  |